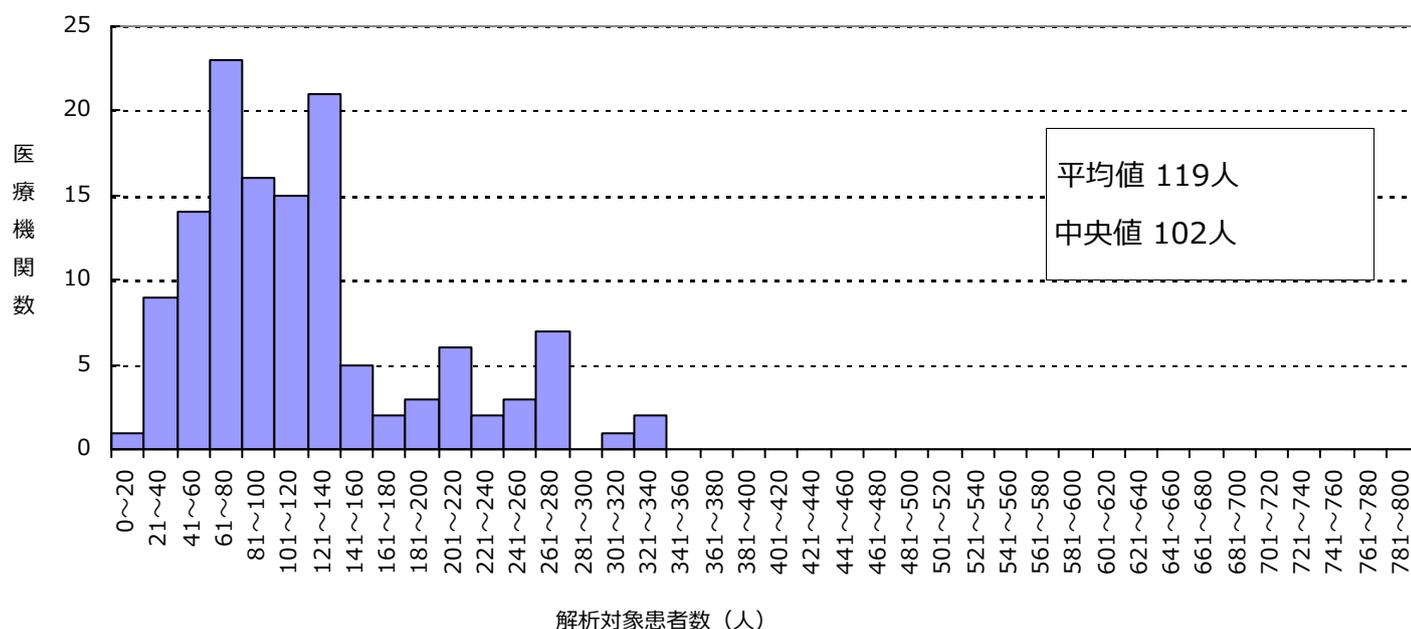


公開情報 2014年7月～12月 半期報  
院内感染対策サーベイランス 集中治療室部門

1. 集中治療室入室患者数\*

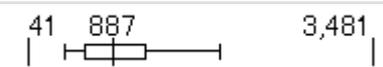
集中治療室(ICU)入室患者数	解析対象患者数 †	1医療機関あたりの解析対象患者数(平均値) ‡	集計対象医療機関の解析対象患者数の分布
47,328	15,457	119	

集計対象医療機関の解析対象患者数の分布 (N=130)

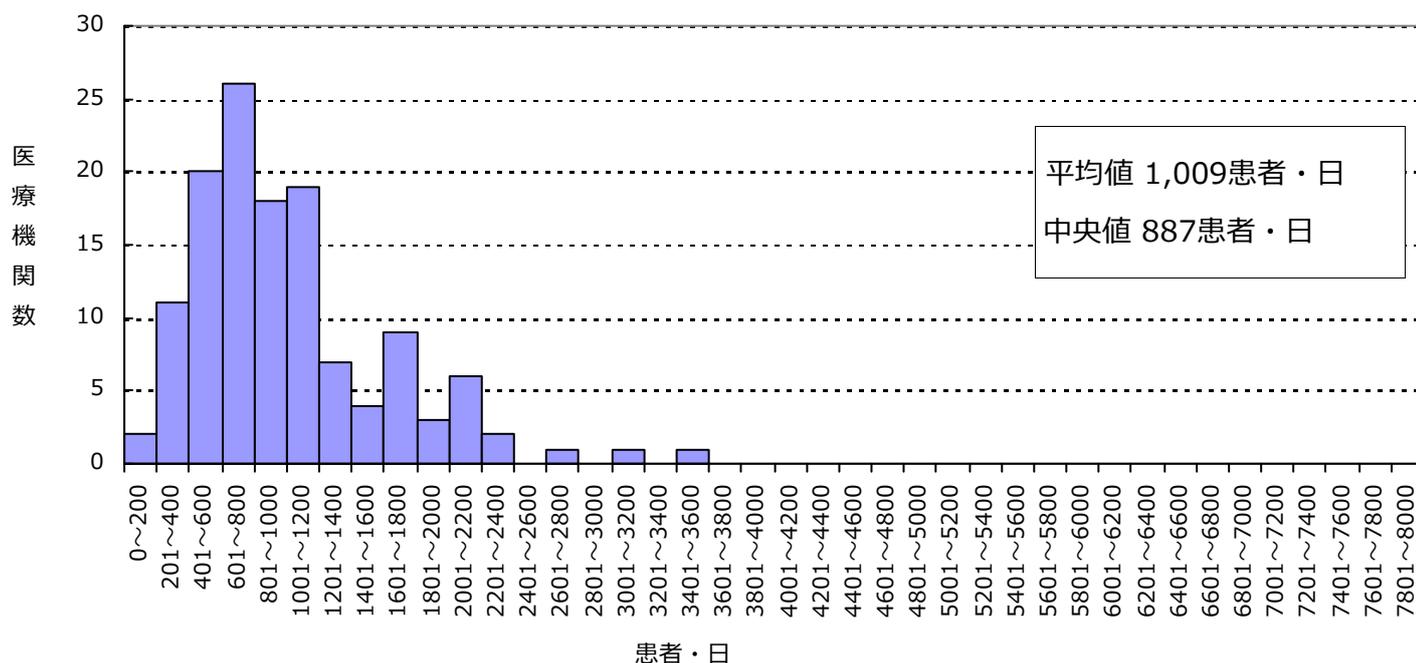


\* ICU入室患者は熱傷患者を除く  
 † 解析対象患者はICU入室日数が3日以上ICU入室患者で、同一患者が同一月内に複数回入室した場合は1と数える  
 ‡ 1医療機関あたりの解析対象患者数 (平均値)  
 = (集計対象医療機関の解析対象患者数合計) ÷ (集計対象医療機関数 (ヒストグラムタイトル末尾のNの数) )

## 2. 解析対象患者の患者・日

集計対象医療機関患者・日合計	1医療機関あたりの患者・日（平均値）*	集計対象医療機関の患者・日の分布
131,214	1,009	

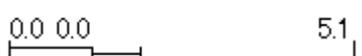
集計対象医療機関の解析対象患者の患者・日分布 (N=130)



\* 1医療機関あたりの患者・日（平均値）

= (集計対象医療機関の患者・日合計) ÷ (集計対象医療機関数 (ヒストグラムタイトル末尾のNの数))

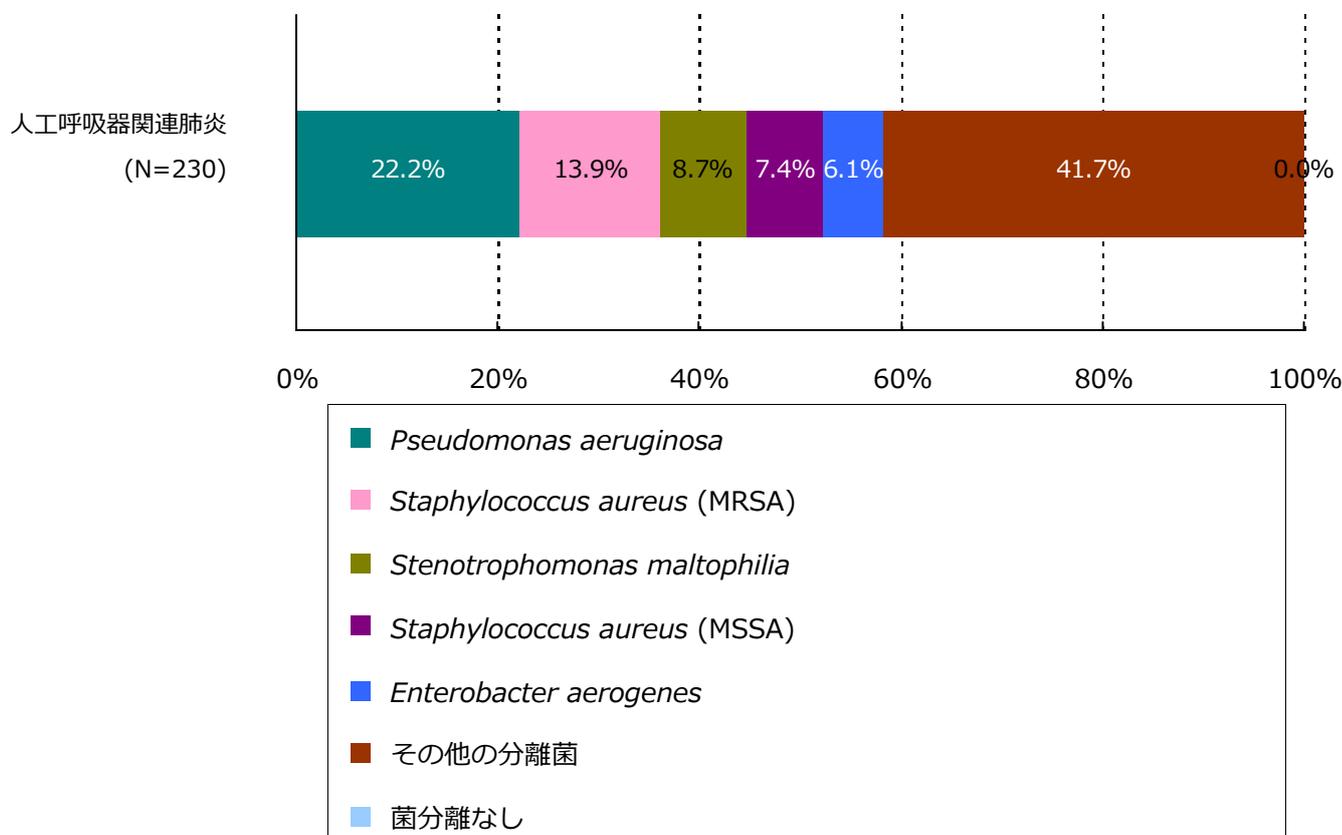
## 3. 感染症発生率\*

	集計対象医療機関の 感染症発生件数合計	全体の感染症発生率 † (/1000患者・日)	集計対象医療機関の感染症発生率 (/1000患者・日)の分布
人工呼吸器関連肺炎	182	1.4	
尿路感染症	68	0.5	
カテーテル関連血流 感染症	102	0.8	

\* 感染症発生率 = (解析対象患者の感染症発生件数) ÷ (解析対象患者のICU入室日数) × 1000

† 全体の感染症発生率 = (集計対象医療機関の解析対象患者の感染症発生件数合計)  
 ÷ (集計対象医療機関の解析対象患者のICU入室日数合計) × 1000

#### 4-1. 感染症別原因菌（人工呼吸器関連肺炎）



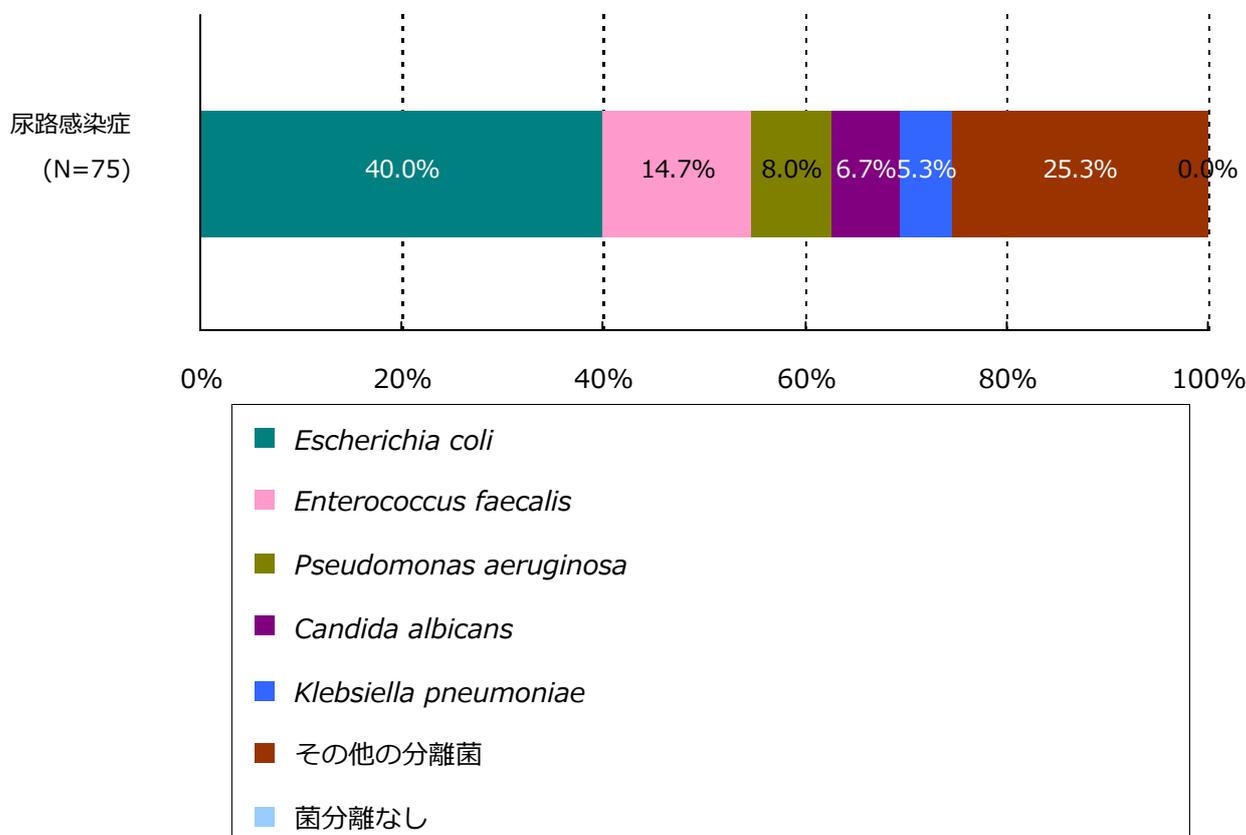
原因菌	分離数*	分離割合
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	51	(22.2%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	32	(13.9%)
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	20	(8.7%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	17	(7.4%)
<i>Enterobacter aerogenes</i>	14	(6.1%)
その他の分離菌	96	(41.7%)
菌分離なし	0	(0.0%)
合計	230	(100.0%)
培養検査なし	1	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード ([http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode\\_ver4.0\\_20090925.xls](http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode_ver4.0_20090925.xls)) に準拠

\*個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発生病数合計と同数にはならない

## 4-2. 感染症別原因菌（尿路感染症）



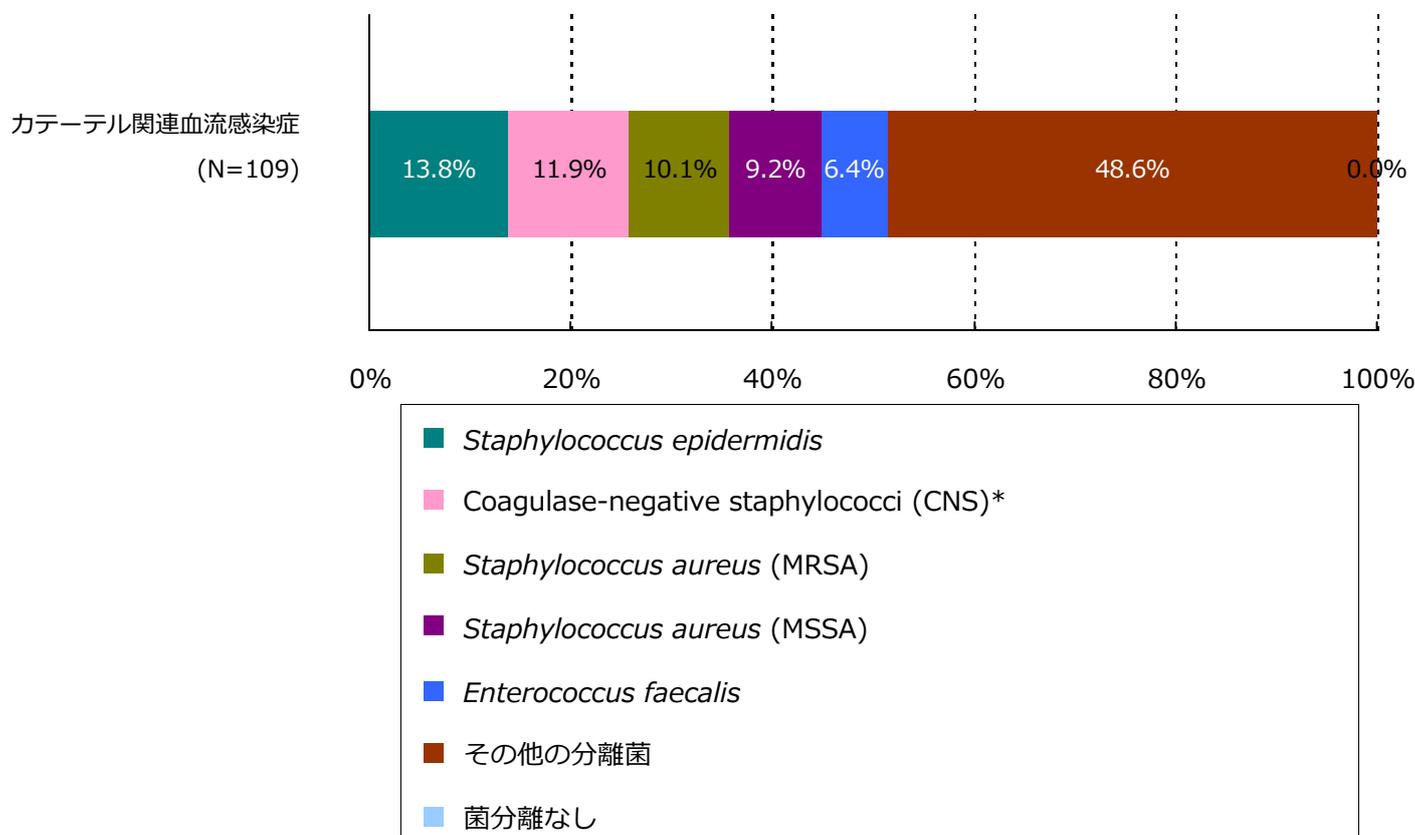
原因菌	分離数*	分離割合
<i>Escherichia coli</i>	30	(40.0%)
<i>Enterococcus faecalis</i>	11	(14.7%)
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	6	(8.0%)
<i>Candida albicans</i>	5	(6.7%)
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	4	(5.3%)
その他の分離菌	19	(25.3%)
菌分離なし	0	(0.0%)
合計	75	(100.0%)
培養検査なし	4	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード ([http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode\\_ver4.0\\_20090925.xls](http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode_ver4.0_20090925.xls)) に準拠

\*個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発症件数合計と同数にはならない

### 4-3. 感染症別原因菌（カテーテル関連血流感染症）



原因菌	分離数†	分離割合
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	15	(13.8%)
Coagulase-negative staphylococci (CNS)*	13	(11.9%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	11	(10.1%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	10	(9.2%)
<i>Enterococcus faecalis</i>	7	(6.4%)
その他の分離菌	53	(48.6%)
菌分離なし	0	(0.0%)
合計	109	(100.0%)
培養検査なし	0	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード ([http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode\\_ver4.0\\_20090925.xls](http://www.nih-janis.jp/section/master/infectiousagentcode_ver4.0_20090925.xls)) に準拠

\**S. epidermidis* (菌名コード:1312)と報告された菌は除く

† 個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発生病数合計と同数にはならない